

平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
政策目標 3 盛んな産業といろいろな働き場があり、成長するまちに
重点的取組 1 地元産業が元気になるよう支援する

担当課名	環境産業部 商工労政課
予算科目	会計 01 一般会計 款 06 商工費 項 01 商工費 目 02 商工業振興費

事業名	商工業活性化ビジョン推進事業	事業開始年度	平成 20 年度
	産業振興組織づくり、地域資源活用による商品開発の支援、市内産業連関の促進など	根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市商工業活性化ビジョン

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	商工業者、農林水産業者	○経営を安定化し産業振興を図る。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	商工会議所及び商工会事業者	・産業振興協議会の開催 ・廿日市市商工業活性化ビジョンの推進業務

3 平成26年度 決算（活動実績・コスト情報・目標到達度）

実施した事業の内容（活動実績）

・産業振興協議会の開催

産業振興協議会は、商工業活性化ビジョンに基づく商工業振興施策の推進組織として、学識・経済団体・金融機関関係者を構成メンバーとして設けられた機関である。

協議会には、3部会を設置（地域資源活用部会、新商品開発部会、賑わい創出部会）している。

・商工業活性化ビジョン推進事業委託

商工業活性化ビジョンに掲げられた各種事業を実施するための支援業務を専門機関へ委託した。

(H26年度の主な事業)

産学金官連携によるネットワークづくり等による産業振興の推進を行うとともに、次期ビジョン策定に向けた現ビジョンの検証や企業ニーズ分析などを行った。

【歳出】

・産業振興協議会委員報償費外

131,520円

・商工業活性化ビジョン推進事業委託

1,933,200円

・事務費（旅費、高速道路通行料）

59,020円

コスト情報（円）

項目		平成 25 年度決算	平成26年度決算①	①のうちH25から繰越	H26からH27へ繰越
財源内訳	直接事業費 A	3,589,010	2,123,740		
	国庫支出金				
	県支出金				
	借入金（市債）				
	その他(使用料など)				
	市（市税など）	3,589,010	2,123,740		
	人件費（按分）B	0.60人 5,091,600	0.60人 5,144,400		
	総事業費（A+B）	8,680,610	7,268,140		
単位 ト換算	①人口（4月1日現在）	117,680人	117,182人		
	市民1人当たり	74	62		
②					

到達目標

活動及び成果指標		単位	H25実績値	H26目標値	H26実績値	H27目標値	備考
活動 成果	産業振興協議会及び部会の開催回数	件	3	4	3	5	
	製造品出荷額等(25年)	億円	1,691	1,691	1,885	1,691	